

# Techno-Ocean News



www.techno-ocean.com  
October 2002

NO.6

## CONTENTS — 目次

- テクノオーシャン2002 いよいよ開催！……………1  
国際会議「人間と海—沿岸環境の保全」を振り返って  
東京大学海洋研究所 大塚臨海研究センター 教授 宮崎 信之 ……2  
「海の駅」中国運輸局 海事振興部 船舶産業課長 小玉 真一 ……3  
テクノオーシャン2002 出展企業・団体一覧……………4  
テクノオーシャン2002 同時開催行事一覧……………4

## テクノオーシャン2002 いよいよ開催！



### A Vision of Ocean Networks

平成14年11月20日(水)~23日(土)  
神戸国際展示場2号館

主催 テクノオーシャン・ネットワーク(TON)  
海洋科学技術センター(JAMSTEC)  
(財)神戸国際観光コンベンション協会(KCVA)  
(財)地球科学技術総合推進機構(AESTO)

特別協力 (社)日本港湾協会、関西造船協会、兵庫県、神戸市

「テクノオーシャン」は、わが国で唯一定期的(隔年)に開催している海洋の科学・技術、工学、産業にかかる本格的な国際コンベンションとして、今回、第9回目を迎えます。「テクノオーシャン2002」では、国際レベルでフェース・トゥ・フェースに情報交流する場、また新たなパートナーシップの構築が実現する場として開催いたします。皆様方のご支援・ご参加をよろしくお願い申し上げます。

#### 記念講演会

日時 11月20日(水) 10:30~12:00  
会場 神戸国際展示場3A会議室  
講演者 坂田 俊文 氏(地球科学技術総合推進機構  
(AESTO)理事長、東海大学教授)  
テーマ 「氷河期に移動した人々  
—宇宙から見た地球の環境—」  
参加費 無料・当日受付(定員270人)  
連絡先 (財)神戸国際観光コンベンション協会  
(☎078-303-7516)

#### 国際シンポジウム

##### 基調講演

- 日時 11月20日(水) 13:00~14:30  
会場 神戸国際展示場3A会議室  
講演① 「人と地球に優しい次世代内航船  
—スーパーエコシップ プロジェクト—」  
不破 健 氏(独立行政法人 海上技術安全研  
究所 スーパーエコシッププロジェクト長)  
講演② Marine Resources Management:  
Ocean Governance and Education  
Prof. Gunnar Kullenberg  
(国際海洋研究所(IOI)前事務局長、ユネスコ政府  
間海洋学委員会(UNESCO/IOC)前事務局長)

##### スペシャルセッション、テクニカルセッション(公募論文)

●11月20日(水)~22日(金)の期間中、神戸国際  
展示場2号館にて開催します。プログラムの詳細は  
<http://www.techno-ocean.com>をご覧ください。

##### 参加登録料(税込)

●3日間 TON会員29,000円<sup>(\*)1</sup> TON非会員32,000円<sup>(\*)1</sup>  
学生5,000円<sup>(\*)2</sup>

注: \*1はTON会費2年分を含んでおります。  
\*2はProceedings(CD-ROM)などを含みません。

●参加登録の詳細は<http://www.techno-ocean.com>を  
ご覧下さい。

#### テクノオーシャン・ユース

日時 11月23日(土・祝) 9:30~16:30  
会場 神戸商船大学  
対象 高校生  
Aコース「海を学ぶ」  
●「深海6500mの世界」をテーマとした講演会  
●神戸商船大学の研究施設での体験学習会  
Bコース「水中ロボット教室」  
●「深海6500mの世界」をテーマとした講演会  
●水中ロボットの組立実習・操作実習  
●しんかい2000と母船なつしまの見学  
参加費 無料・事前申込要  
連絡先 (財)神戸国際観光コンベンション協会  
(☎078-303-0029)



## 国際会議「人間と海—沿岸環境の保全」を振り返って



東京大学海洋研究所 大槌臨海研究センター 教授 宮崎 信之

本年7月8-12日の期間、International Conference on "Man and the Ocean-Conserving Our Coastal Environment" 【国際会議「人間と海—沿岸環境の保全」】が国際連合大学、ユネスコ、岩手県、島津製作所、東京大学の共催で開催された。国際連合大学での3日間は、渋谷にある国際連合大学に国内外の専門家を招いて、(1)Endocrine Disruptor Pollution in Asia and the Pacific、(2)Coastal Management and Sustainable Development、(3)Marine Ecology and Environmentに焦点を合わせて最新の情報を基にしたシンポジウムが開催された。この会議には、16ヶ国と3つの国際機関（国際連合大学、ユネスコ、ヨーロッパコミュニティ）から約50名の専門家が出席し、一堂に会して開催された。この会議は一般の人々にも公開していたので、初日は約250名、二日目と三日目はともに約120名の参加者があった。会場では37研究課題および9ポスターが発表された。

この原稿を書いている7月20日15:25時点では、世界の人口は6,261,018,501人（World Population）で、今後、その増加が予想される。実際、250万人以上の人々が住む大都市の65%が沿岸域に集中していることから、参加者の間では沿岸域の永続性のある利用や環境保全を視野に入れた総合的な管理体制の構築の重要性が認識され、相互に有意義な意見交換がなされた。特に、今回の出席者の多くは研究者であったことから、研究者が得た知見をどのように生かしていくかについて力点を置いた議論が展開された。参加者の中から、最新の精度の高い研究成果を、一般市民、漁業者、行政官や政策決定者に提供すると同時に、次世代を担う子供たちへの教育システムの確立の重要性が指摘された。

私たちは、沿岸研究・社会教育・国際協力を中心に、国際連合大学、岩手県、東京大学海洋研究所が海洋環境国際共同研究事業（1999-2002）を推進してきた。この事業の一環として、三陸沿岸域を中心として、(1)沿岸生態系、(2)物質循環、(3)海洋汚染の3つの研究課題を北里大学水産学部、岩手県水産技術センター、釜石バイオ・テクノロジー研究所、北海道大学、愛媛大学、神戸女学院大学、国立極地研究所などの協力のもとに実施してきた。この活動と平行して、社会教育や国際ネットワーク作りにも努力を払ってきた。毎年、アジアや南太平洋の国々から将来を担う若手研究者を招き海洋環境に関する国際ワークショップを開催すると同時に、一般市民を対象とした講演会や地元の中・高校生を対象とした特別授業を実施してきた。今回も、その集大成ということで、盛岡会場（7月11日）では岩手県の人々を対象にして沿岸海洋研究のトピックスを紹介すると同時に、これまで国際連合大学、岩手県、東京大学海洋研究所が3年間実施してきた海洋環境国際共同研究事業の総括の報告を行った。この会議には、台風6号による影響があったにもかかわらず約180名の参加者があり、熱心な議論がなされた。翌日（7月12日）、会場を東京大学海洋研究所・大槌臨海研究センターのある大槌町に移し、町内の小中学生や市民を対象にした講演会（約250名）が開催された。講師の先生には海洋環境の大切さと海洋研究の最前線について講演をしていただき、講演後は講師の方々や外国の招待研究者（16名）を囲んで、地元の子供たちとの交換会を開いた。

今回の国際会議は、国際連合大学、岩手県、東京大学海洋研究所とそれぞれ異なった立場で海洋環境に取り組んでいる複数の機関がそ



の独自性を生かした共同作業の総括の場でもあった。国際連合大学からは、これまでの一連の活動に対して、岩手県および東京大学海洋研究所に感謝の盾が贈られた。この国際機関、地方自治体、企業、大学とのユニークな組み合わせは、環境問題に取り組むシステムを構築する上で、今後の一里塚になるものと思われる。日本は1996年に国連海洋法条約を批准し、領海や経済水域の調査研究を通じ

て、持続的な利用や合理的な保全・管理を推進することが強く求められている。これを機会に、沿岸環境保全に深く関わっている各機関がそれぞれの有利性を生かして、循環型の沿岸管理体制を確立し、夢のある社会の構築に貢献されることを期待したい。

【連絡先】  
〒028-1102 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜2-106-1  
東京大学海洋研究所大槌臨海研究センター  
☎0193-425611



中国運輸局 海事振興部 船舶産業課長 小玉 真一

## 1. 現況

「海の駅」と聞いて、どのようなイメージを抱かれるでしょうか。どこか新鮮味のある余韻をもたらす言葉のような気がしています。「海の駅」の語源は、その意味で、「海の家」と「道の駅」の造語と言えます。

中国管内には、現在「海の駅」の名称を使用している施設として、「ゆたか海の駅」があります。この「ゆたか海の駅」の開館は、平成12年3月11日で、建設・施設管理主体は、

(株)ゆたか海の駅(資本金1千万円【資本構成：町25%、山陽商船75%])となっています。建設当初は、島に不足している賑わいの場、都市的機能の場の創出を目指していたと伺っています。



## 2. 「海の駅」のネットワーク

瀬戸内海地域は、豊かな自然環境に恵まれ、波静かな海域における多島海を誇っています。一方では、恒常的に人口流出が進み、従来の基幹産業が衰退しつつあり、島や海の魅力を生かした新たな地域活性化方策が必要とされています。

中国運輸局では、「海の駅」について、昨年度、「海の駅」フォーラムの開催、「ゆたか海の駅」モニターツアー等を実施し、「海の駅」の定義(概念)、備えるべき要件、あり方について取りまとめました。



本年度は、「海の駅」の設置及びネットワーク化を実現するための運用ルールの構築に向け、関係自治体との調整を図っていると

## 3. 今後の展望

「海の駅」は、マリンレジャー、特にクルージングの最適受入・係留施設として、その利用拡大が期待されています。気がるに誰でも立ち寄れる雰囲気があり、テーマ(目的地)を持ったクルージングが可能となるなど、その魅力は無数の可能性を秘めているものと考えられます。このようなクルージングを通じて、架橋に伴い衰退している海上交通ネットワークの再生、地域間相互の交流が活性化されるものと思われます。

「海の駅」が国民的財産ともいえる瀬戸内海地域の自然の再生役を担い、後世に継承・伝承する大きな推進役を果たすことになれば幸いです。



【連絡先】  
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30  
中国運輸局海事振興部船舶産業課  
☎082-228-3679

OCEANS '02 MTS/IEEE  
**Marine Frontiers**  
Reflections of the Past, Visions of the Future

**Oceans 2002**  
**Conference & Exhibition**  
10/29 tue ▶ 31 thu Biloxi, Mississippi  
<http://www.oceans2002.com/>



## テクノオーシャン2002 ご出展いただく企業・団体のみなさま (50音順)

### 国際エキジビション

アレック電子(株)  
アーンデラー・ジャパン・リミテッド  
石川島播磨重工業(株)  
(株)エヌ・ティ・ティ・データ  
応用地質(株)  
(株)大林組  
(株)海事プレス  
海洋科学技術センター  
海洋電子(株)  
鹿島建設(株)  
川崎重工業(株)  
(株)キュー・アイ  
神戸市みなと総局  
(株)神戸製鋼所  
広和(株)  
国土環境(株)  
国土総合建設(株)

CDM研究会  
清水建設(株)  
新日本海事(株)  
大成建設(株)  
タキゲン製造(株)  
(株)竹中工務店  
東亜建設工業(株)  
(有)ナカタ設計工業/山口大学工学部  
(株)西村組  
日本海事新聞社  
ノルテック As  
古野電気(株)  
マリメックス・ジャパン(株)  
マリプロト推進機構/財団法人造船技術センター  
三井造船(株)  
三菱重工業(株)  
寄神建設(株)  
ワイエスアイ・ナノテック(株)  
IHO '03

### 学術研究団体展

アークバイオメカニズム研究会  
愛媛大学沿岸環境科学研究センター  
(財)沿岸開発技術研究センター  
塩水くさび観測システム研究開発グループ  
大阪府立大学大学院工学研究科  
(財)大阪湾ハイエリア開発推進機構  
OCEANS 2003  
(社)海上技術安全研究所  
(社)海洋産業研究会  
金属鉱業事業団  
真地域海洋懇話会  
神戸商船大学  
神戸大学内海城機能教育  
研究センター  
(財)港湾空間高度化環境  
研究センター  
(財)国際エメックスセンター

国土交通省近畿地方整備局  
神戸港湾空港技術調査事務所  
(社)産業技術総合研究所海洋部門  
スーパーマリンガスタービン技術研究組合  
但馬沖深層水利用研究協議会  
東海大学海洋学部  
東京商船大学 海洋工学研究室  
東京水産大学地域共同研究センター  
(社)日本海洋開発産業協会  
(社)日本栽培漁業協会  
(財)日本水路協会  
(社)日本造船学会海洋環境  
研究委員会  
(社)日本造船学会海洋工学委員会  
日本大学理工学部海洋建築工学科  
(社)日本マリンエンジニア  
リング学会

2002年9月26日現在

## テクノオーシャン2002 同時開催行事

多くの海洋関係者の方にお集まりいただき、充実した情報交流空間を実現するために、「テクノオーシャン2002」の開催にあわせて、次のような「同時開催行事」が開催されます。

### 講演会・セミナー

#### 第68回マリンエンジニアリング学術講演会 (平成14年秋季)

日時 11月20日(水)～21日(木)9:00～17:00  
会場 神戸国際会議場  
主催 (社)日本マリンエンジニアリング学会(☎03-5396-0461)  
参加費 有料(会員5,000円、非会員10,000円)・事前申込要

#### 第6回港湾物流セミナー

日時 11月21日(木) 13:30～17:00  
会場 神戸国際会議場  
主催 (社)港湾荷役機械システム協会(☎03-5472-4791)  
参加費 無料・事前申込要

#### 第4回大型浮体構造物セミナー

日時 11月21日(木) 13:30～16:45  
会場 神戸商工会議所神商ホール  
主催 マリンプロト推進機構(☎03-3502-2912)  
参加費 無料・当日受付

#### 平成14年度独立行政法人 海上技術安全研究所講演会(第2回)

日時 11月22日(金) 13:00～17:00  
会場 神戸国際会議場  
主催 (独)海上技術安全研究所(☎0422-41-3005)  
参加費 無料・当日受付

#### 海と人のシステム研究会第4回大会

日時 11月22日(金) 9:30～17:00  
会場 神戸国際会議場  
主催 海と人のシステム研究会(E:mailumihito@ma2seikyuu.ne.jp)  
参加費 有料(500円)・当日受付

### 編集室から

昨年に引き続いて、「テクノオーシャン」の青少年啓発イベント「テクノオーシャン・ユース」が開催されます。21世紀を担う青少年に、もっと海に目を向け、海について考えてもらう機会を提供することで、ひとりでも多くの科学者・技術者が誕生し、将来この中からオーシャンネットワークのリーダーとなって活躍してくれることを期待しています。(村)

### 気候講演会 in KOBE

日時 11月23日(土・祝)13:30～16:00  
会場 兵庫県農業会館(JR元町駅より南へ徒歩約5分)  
主催 気象庁(☎03-3212-8341(代)内線4225)・  
(財)日本気象協会  
参加費 無料・当日受付

### 「なつしま」「しんかい2000」一般公開

日時 11月22日(金)～23日(土・祝)9:00～16:00  
会場 神戸港新港第一突堤  
(22日は神戸国際展示場よりシャトルバスあり)  
主催 海洋科学技術センター・TON  
参加費 無料・当日受付  
連絡先 (財)神戸国際観光コンベンション協会(☎078-303-7516)

### 国際フロンティア産業メッセ 2002

日時 11月20日(水)・21日(木)10:00～17:00  
(21日16:00まで)  
会場 神戸国際展示場1号館  
参加費 無料・一部セミナーは事前申込要

### フロンティアイノベーションフェア

主催 兵庫県、(財)阪神・淡路産業復興推進機構、  
(財)新産業創造研究機構(☎078-306-6806)

### ひょうごITビジネスフェア

主催 神戸商工会議所(☎078-303-5810)

### 放射光イノベーションセミナー

主催 (財)ひょうご科学技術協会(☎0791-58-1415)

Techno-Ocean News No.6 2002年10月発行(年4回)

### 発行：テクノオーシャン・ネットワーク

〒650-0016 神戸市中央区港島中町6丁目11-1  
(財)神戸国際観光コンベンション協会内 ☎078-303-7516  
☎078-302-1870 URL: <http://www.techno-ocean.com>  
e-mail: [techno-ocean@kcvn.or.jp](mailto:techno-ocean@kcvn.or.jp)

ロゴ&表紙ヘッダーデザイン：東 恵子(東海大学短期大学部助教授)